



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、YouTube とのパートナーシップにより Adobe Premiere モバイル版と YouTube ショートでクリエイターの魅 力的なコンテンツ制作とオーディエンス拡大を支援

- アドビと YouTube は、Adobe Premiere の最高水準の動画編集ツールと YouTube ショートのグローバルなプラットフォームの連携により、数百万のクリエイターが魅力的な動画を作成し、オーディエンスを拡大することを支援
- YouTube ショート制作のための強力な新機能を搭載した無料の Adobe Premiere モバイル版により、クリエイターはスタジオ品質のオーディオ、AI で生成する効果音、無制限のトラック数による高精度な編集、Adobe Firefly による AI コンテンツ生成などを活用した高度な動画編集が可能に
- クリエイターは YouTube ショートから Adobe Premiere モバイル版の動画編集ツールにアクセスし、目を引くエフェクト、タイトル、トランジション、テンプレートを活用してコンテンツのリミックスが可能に

※当資料は、2025 年 10 月 28 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2025 年 10 月 28 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大級のクリエイティブカンファレンス [Adobe MAX](#) において、YouTube とのパートナーシップを発表

しました。このパートナーシップは、世界中の数百万のクリエイターが素晴らしいコンテンツを制作し、オーディエンスを拡大することを目的としています。この提携により、業界をリードする Adobe Premiere の動画編集ツールと YouTube ショートの膨大なリーチが融合し、新たなコンテンツ制作スペース「[YouTube ショート用に作成](#)」が、近日中に [Adobe Premiere モバイル版アプリ](#) に登場します。この専用スペースでは、Adobe Premiere モバイル版上で YouTube ショートを制作し即時公開することができます。これにより、アドビの信頼されている動画編集ツールが数百万の YouTube クリエイターに直接提供されます。クリエイターはまた、テンプレートを保存・作成したり、独自のテンプレートを作成して YouTube ショートで共有することで、他のクリエイターにインスピレーションを与え、新たなトレンドを生み出すこともできます。

Adobe Premiere モバイル版に登場する、YouTube ショートのための新しいコンテンツ制作スペースは、クリエイターがバイラル動画を簡単に制作し、オーディエンスを拡大し、トレンドを利用するために必要なすべてを提供します。クリエイターは、目を引く YouTube ショート制作のために設計された、アドビの強力な動画編集ツール（専用エフェクト、トランジション、テンプレートなど）を利用できます。日常の Vlog から旅行動画、舞台裏のコンテンツまで、あらゆるジャンルにおいて、クリエイターはいつでもどこでも魅力的なコンテンツを制作・共有できるようになります。

YouTube のスコット シルヴァー（Scott Silver）氏はアドビのイーライ グリーンフィールド（Ely Greenfield）とともに Adobe MAX のステージに登壇し、この新たなパートナーシップを世界中のクリエイティブコミュニティに向けて共有しました。

アドビのデジタルメディア担当最高技術責任者（CTO）兼シニア バイス プレジデントであるイーライ グリーンフィールド（Ely Greenfield）は、次のように述べています。

「YouTube との提携を通じ、クリエイターが世界最大のプラットフォームである YouTube で制作し、共有し、成長する力を提供できることを大変嬉しく思います。YouTube ショートはクリエイターにとって究極の飛躍の場となりつつあり、Adobe Premiere モバイル版が備える使いやすい動画編集ツールを数百万の YouTube クリエイターに届けることで、彼らが際立ったコンテンツを制作し、新しいオーディエンスにリーチできるよう支援します。」

YouTube のエンジニアリング担当バイスプレジデントであるスコット シルヴァー（Scott Silver）氏

は、次のように述べています。

「私たち YouTube の目標は、クリエイターの環境に寄り添い、誰もがより簡単にストーリーを伝え、オーディエンスとつながるために必要なツールを提供することです。YouTube ショートを Adobe Premiere モバイル版に統合する今回のパートナーシップにより、クリエイターは思いのままにコンテンツを制作するためのより多くの選択肢と編集機能にアクセスでき、オーディエンスとつながる新たな方法を生み出し、世界中の新たなオーディエンスにリーチできるようになります。」

クリエイターが求めるツールで魅力的なショート動画制作を支援

Adobe Premiere モバイル版の「[YouTube ショート用に作成](#)」コンテンツ制作スペースは、YouTube ショート作成画面の「Adobe Premiere で編集」アイコンをタップすることで YouTube から直接アクセスできるようになります。

この専用コンテンツ制作スペースでは、クリエイターに以下の強力な機能を提供します。

- **専用エフェクト、トランジション、タイトルプリセットを活用して、すべての動画をポップで際立ったものにできます。**
- **プロ品質のトランジションやエフェクトを備えたすぐに使えるテンプレートから、洗練されたコンテンツを作成できます。**
- **カスタマイズしたテンプレートを編集・共有し、他のクリエイターにインスピレーションを与え、新たな YouTube トрендを生み出せます。**
- **ワンタップで完成した動画を YouTube ショートとして共有できます。**

さらに、クリエイターは Adobe Premiere モバイル版のすべての機能を手元で操作できるようになります。プロ品質の編集ツール、AI による効果音生成を備えたスタジオ品質のオーディオ、Adobe Firefly によるユニークなアセットの生成など、多彩な機能が利用可能です。アドビは [9 月に](#) Adobe Premiere モバイル版を発表し、最高水準の動画編集テクノロジーを次世代のクリエイターに提供しました。

Adobe Premiere モバイル版の「[YouTube ショート用に作成](#)」コンテンツ制作スペースは、近日中の提供開始を予定しています。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

Forward-Looking Statements

This press release contains “forward-looking statements” within the meaning of applicable securities laws, including those related to Adobe’s new, enhanced or future AI and product capabilities, innovations and offerings and the expected benefits to Adobe. Each of the forward-looking statements we make in this press release involves risks, uncertainties and assumptions based on information available to us as of the date of this press release. Such risks and uncertainties, many of which relate to matters beyond our control, could cause actual results to differ materially from these forward-looking statements. Factors that might cause or contribute to such differences include, but are not limited to: failure to innovate effectively and meet customer needs; issues relating to development and use of AI; failure to compete effectively; damage to our reputation or brands; failure to realize the anticipated benefits of investments or acquisitions; service interruptions or failures in information technology systems by us or third parties; security incidents; failure to effectively develop, manage and maintain critical third-party business relationships; risks associated with being a multinational corporation and adverse macroeconomic conditions; complex sales cycles; failure to recruit and retain key personnel; litigation, regulatory inquiries and intellectual property infringement claims; changes in, and compliance with, global laws and regulations, including those related to information security and privacy; failure to protect our intellectual property; changes in tax regulations; complex government procurement processes; risks related to fluctuations in or the timing of revenue recognition from our subscription offerings; fluctuations in foreign currency exchange rates; impairment charges; our existing and future debt obligations; catastrophic events; and fluctuations in our stock price. Further information on these and other factors are discussed in the section titled “Risk Factors” in Adobe’s most recently filed Annual Report on Form 10-K and Adobe’s most recently filed Quarterly Reports on Form 10-Q. The risks described in this press release and in Adobe’s filings with the U.S. Securities and Exchange Commission should be carefully reviewed. Adobe undertakes no obligation, and does not intend, to update the forward-looking statements, except as required by law.

© 2025 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.